２０２６年１１月１９日
東海旅客鉄道株式会社
株式会社ＪＲ東海リテイリング・プラス
ジェイアール東海フードサービス株式会社

# 株式会社ＪＲ東海リテイリング・プラスとジェイアール東海フードサービス株式会社の合併について

東海旅客鉄道株式会社（以下、ＪＲ東海）のグループ会社である、ＪＲ東海の駅構内を中心に小売・飲食店舗などを運営する株式会社ＪＲ東海リテイリング・プラス（以下、プラス）と、主に飲食店舗を運営するジェイアール東海フードサービス株式会社（以下、フード）は、飲食事業等のさらなる成長を目的として、2027 年４月１日（予定）に合併します。

今回の合併を機に、お客様のニーズや立地特性に合った、より魅力ある飲食店舗の展開をさらに加速させるとともに、フードが育ててきたひよこ型のスイーツ「ぴよりん」などの製菓事業から派生したＩＰコンテンツ事業等を一層拡大してまいります。

これらの取組みを通じて、通勤・通学などの日常から旅行などの非日常までの幅広い場面におけるお客様のニーズに、これまで以上にお応えできるよう努めてまいります。

## １．新会社の概要

・会 社 名：株式会社ＪＲ東海リテイリング・プラス
・事業内容：両社の事業を継承し、ストア事業、飲食事業（フランチャイズ事業、直営飲食事業）、製菓・ＩＰコンテンツ事業（「ぴよりん」等）、新幹線車内サービス事業、駅弁製造事業、ＥＣ事業を展開します。
※下線部が今回の合併により強化する事業
・資 本 金：７億円
・本社所在地：東京・名古屋の２本社制（登記上の本店所在地は名古屋）
・合併期日：2027 年４月１日（予定）

## ２．合併のねらい

・飲食事業については、多様な飲食ブランドを一社で展開することで、よりお客様のニーズや立地特性に合った店舗展開を加速させます。
・「ぴよりん」については、現在の販売体制に加え、東京・静岡・大阪などにあるプラスの一部店舗における関連商品（菓子・グッズなど）の販売を開始するなど、さらに多くのお客様にお求めいただきやすい販売体制を整えます。

## ３．その他

・合併の詳細および合併を記念したキャンペーンについては、2027 年３月頃にお知らせする予定です。

※別紙：合併のねらい・合併後の事業概要、現２社の概要

# 合併のねらい及び合併後の事業概要

別紙

## ◎合併のねらい

### 【多様なニーズに対応した飲食店舗の出店加速】

カフェ・ベーカリー・ドーナツ・ラーメン・和食・洋食など様々なジャンルの飲食ブランドを一社で展開することで、お客様の多様なニーズに対応した出店を加速します。また、これまでの駅構内を中心とした出店に加え、ＪＲ東海沿線の市中への出店も拡大していきます。




2050 coffee 心斎橋店
（市中出店の一例）

### 【「ぴよりん」の販売・発信の強化】

「ぴよりん」については、現在の販売体制に加え、東京・静岡・大阪などのプラスの一部店舗やＥＣサイトなどで、関連商品（菓子やグッズなど）の販売を拡大します。また、様々なキャンペーンを通じて、より多くのお客様に「ぴよりん」の魅力を発信していきます。



手作りクッキー缶
（ぴよりん関連商品一例）

## ◎合併後の事業概要

**・多様な事業を通じ、これまで以上に「旅や日常にプラスの価値」を提供していきます。**

【ストア事業】




【フランチャイズ事業】






【直営飲食事業】





【製菓・IPコンテンツ事業】






【新幹線車内サービス事業】



【駅弁製造事業】



【ＥＣ事業】

旅と、くらしと
PLUSTA
ONLINE STORE

# 現２社の概要

別紙

| 会社名 | ㈱ＪＲ東海<br>リテイリング・プラス | ジェイアール東海<br>フードサービス㈱ |
|---|---|---|
| 主な事業 | ストア事業、フランチャイズ事業、新幹線車内サービス事業、駅弁製造事業、ＥＣ事業 | 飲食事業（直営・フランチャイズ）、製菓事業（ぴよりん等）、ＩＰコンテンツ事業（ぴよりん）、ＥＣ事業 |
| 本社所在地 | 東京・名古屋の２本社制<br>（登記上の本店所在地は名古屋） | 名古屋 |
| 代表者 | 小林　創 | 岩下　賢一 |
| 設立 | ２０２３年１０月１日<br>※東海キヨスク株式会社と<br>株式会社ジェイアール東海<br>パッセンジャーズが合併 | １９９３年４月３０日 |
| 資本金 | ７億円 | １億円 |
| 営業収益<br>※2025年度実績 | １，１０９億円 | ７３億円 |